



Team KYGNUS SUNOCO

Formula
NIPPON RACE REPORT



Round2-MOTEGI

DRIVER : LOIC DUVAL
CIRCUIT : 1LAP=4.801379km
RACE : 52LAPS(249.67km)

第2戦は、舞台をツインリンクもてぎ（栃木県）に移して開催された。今戦の見所は、スペシャルステージ方式の予選。全車が1台ずつコース上へ出走し、タイムアタックを行う。Team KYGNUS SUNOCOは、ポイントを取り逃がした開幕戦の雪辱を晴らすべく、万全の準備を整えてもてぎに挑んだ。

5月12日（土）、快晴ながら時折強い風が吹き、肌寒い一日となった。まずは午前中、予選Q1が11:10~11:30の20分間で行われた。気温19℃、路面温度34℃。デュバルは中古タイヤでコースインし、マシンの確認を行う。早々に好タイムを叩き出すと、いったんピットへ戻る。ニュータイヤに交換し、最後のタイムアタックに向けてタイミングを計り、再びコースイン。1' 33.722で2番手を獲得した。

スペシャルステージ予選は14:25より開始。気温19℃、路面温度32℃。このセッションにはQ1で出した順位の逆順で1台ずつコースインし、インラップの1周でウォームアップを行ったのち、タイムアタックに入る。Q1で2番手を獲得したデュバルは、全17台中16番目にコースイン。このセッションに挑むに当たり、各車タイヤ選択に少しずつ違いが出ており、タイヤを暖めるまでに1周しか時間がないことを考慮しての全輪中古タイヤ、そしてフロントは中古タイヤ+リアはニュータイヤの組み合わせ、または全輪ニュータイヤ、という3パターンが見られた。デュバルは全輪ニュータイヤを装着し、コースイン。目に見えてのコースオフ等は生じないものの、いくつかのコーナーで小さなミスがあり、結果は6番手。これが決勝レースのグリッドとなった。

5月13日（日）、前日より一気に気温が上昇し、日中は汗ばむ陽気となった。フォーメーションラップ開始は14:30。気温24℃、路面温度40℃。デュバルはスタートで一瞬出遅れ、続くコーナーで何とか順位を取り戻そうと試みるも、中盤の集団に埋もれて挽回は叶わず、2つポジションを落として8番手でオープニングラップを終える。ここから前車との接近戦を繰り返すも、5周目の1コーナーで大きくコースオフを喫する。ここで14番手までポジションを落としたが、8周目で1台をパスして13番手。その後もさらに前車との差を詰めるも、ここもてぎのコース特性もあり、なかなか前に出られない。しかし17周目の1コーナーで前車がコースオフ、ここで1つポジションを上げて12番手。24周目を終えたところでピットに入り、タイヤ交換、給油を迅速な作業で済ませると再びコースへ。ポジションは14番手、26周目には前車をオーバーテイクして13番手に。その後は前車のピットインで2つポジションを上げ、30周目で11番手。そこからは前車との攻防戦となったが、最後までついに前に出られず、11番手でチェッカーを受けた。

⇒ロイック・デュバルのコメント：

「残念ながら今回もノーポイントで終わってしまいました。しかし良いところがあったわけではありません。スピードはどのセッションでも常にトップ3にいたと思うし、戦闘力があるということはちゃんと証明できています。レースはスタートが難しく、そしてレース中は、他の車の後ろについて走るとリアのブレーキがオーバーヒートするという問題を抱えています。このような症状は次戦のオートポリスでは起こり得ないので、ここまでの2戦はブランクを埋めることや新しいチームに慣れるためのトレーニングだったんだと思い、気持ちを新たに期待を持ってオートポリスへ挑みたいと思います。」

⇒土屋武士 監督のコメント：

「前はロイックの復帰初戦で、いろいろ見えた部分もあって、セットアップもロイック選手の好みに合わせ、少しチャレンジングなことも施してクルマを持ち込みました。完璧ではないにしても、その状態がとても良く、予選1回目の2番手という結果につながりました。スペシャルステージは彼自身の不得意な区間でミスがあり、タイムロスがあつての6番手でした。決勝に向けては、新たなセットアップを試しました。ロイックはまだ新しいタイヤの感触をつかみ切れていないところもあったりというところで、コースオフなどのミスを誘発してしまったと思います。しかしその後のラップタイムは順調で、良い感触をつかめたレースだったと思います。リザルト上ではまだまだ一年間のブランクも影響して、ポイントを取ることすら難しい戦いが続いています。次のオートポリスに対して、チームは非常に良いデータを持っているので、ここまでのチャレンジも含め、それらをしっかりと結果に結び付けられるよう準備ができていますので、ぜひ次戦にご期待ください。」